Leaders
in Trusted
Technologies

NISSHA

2026年12月期
第3四半期
決算説明会

2026年11月11日

NISSHA株式会社
代表取締役社長 最高経営責任者
鈴木順也

ハイライト

2026年12月期 第3四半期（1-9月）の実績

- Tailwinds
  - 連結： 売上高および営業利益は前年同期並み、通期業績予想に対し堅調に進捗（のれんの減損損失を除く）
  - メディカル： 医療機器CDMOの需要が堅調に推移
  - 産業資材： モビリティ外装機能部品の生産が拡大、家電向けは堅調に推移
  - ディバイス： タブレット向けの需要が大幅減少も、生産平準化により利益インパクトを軽減
- Headwinds
  - 産業資材： モビリティ外装機能部品の生産関連費用が利益を圧迫

2026年12月期（通期）の見通し

- 売上高・営業利益： 変更なし
- 税引前利益・親会社の所有者に帰属する当期利益： 下方修正、マイクロ成形を手掛ける子会社の非支配持分の将来における買取価格を確定、Q4に金融費用約78億円を計上見込み（詳細後述）
- Q4想定為替レート： ￥155/$

©2026 Nissha Group

FY2026 Q3累計（9カ月）

（百万円）

	2025 Q3累計 実績		2026 Q3累計 実績	前年同期比（前年累計比）
売上高	145,270		144,980	▲0.2%
メディカル	40,135		✓ 43,932	+9.5%
医療機器	35,047		38,890	+11.0%
医薬品	5,088		5,042	▲0.9%
産業資材	57,074		✓ 62,987	+10.4%
ディバイス	43,826		33,845	▲22.8%
その他	4,234		4,215	▲0.5%
営業利益	3,508	※1 USM減損含む	▲3,679	-
営業利益率	2.4%		-2.5%	-4.9pt
		USM減損除く	3,079	▲12.2%
			2.1%	-0.3pt
メディカル	2,469		✓ 2,996	+21.3%
産業資材	2,994		2,278	▲23.9%
ディバイス	1,467	※1 USM減損含む	▲5,565	-
		USM減損除く	1,194	▲18.6%
その他	▲622		▲56	+90.9%
調整額	▲2,800	※2	▲3,332	▲19.0%
税引前利益	2,213		▲4,730	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	505		▲5,773	-
為替レート（平均）	¥147/$		¥157/$	
為替レート（直前期末～当該期末）	¥158/$～¥149/$		¥157/$～¥157/$	

※1 USM減損▲68億円　※2 固定資産売却益3.5億円、 USMに係る調査費用など▲6億円含む

©2026 Nissha Group

FY2026 Q3（3カ月）

（百万円）

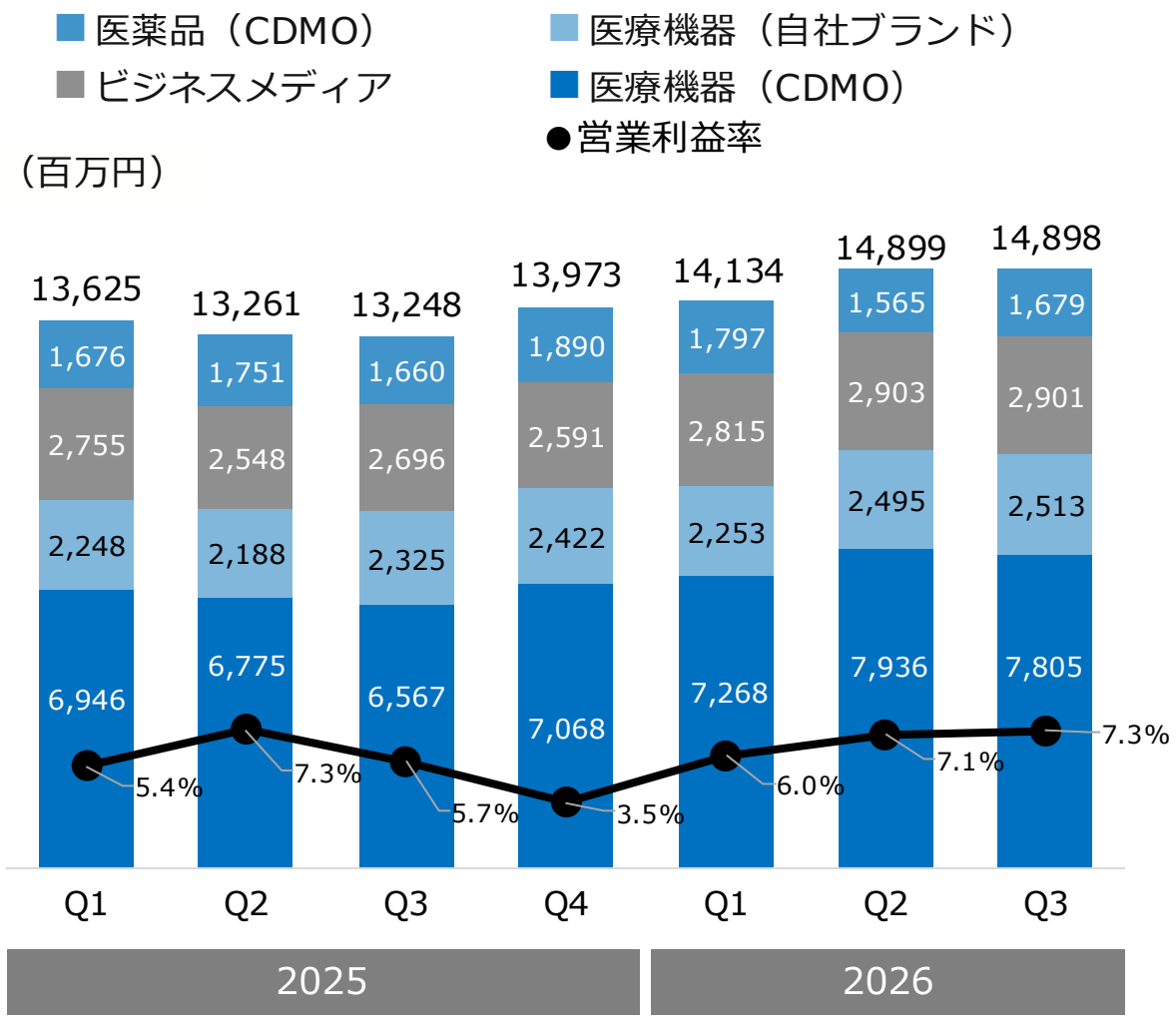
	2025 Q3 実績	2026 Q2 実績		2026 Q3 実績	前年同期比（前年Q3比）	前四半期比（2026 Q2比）
売上高	48,221		50,242	48,946	+1.5%	▲2.6%
メディカル	13,248		14,899	14,898	+12.4%	0.0%
医療機器	11,588		13,334	13,218	+14.1%	▲0.9%
医薬品	1,660		1,565	1,679	+1.1%	+7.3%
産業資材	19,504		21,618	21,839	+12.0%	+1.0%
ディバイス	14,074		12,468	10,976	▲22.0%	▲12.0%
その他	1,394		1,255	1,232	▲11.6%	▲1.8%
営業利益		※1 USM減損含む	▲5,251	821	▲13.5%	黒字化
営業利益率	949 2.0%		-10.5%	1.7%	-0.3pt	+12.2pt
		USM減損除く	1,507 3.0%	821 1.7%	▲13.5% -0.3pt	▲45.5% -1.3pt
メディカル	753		1,064	1,090	+44.6%	+2.4%
産業資材	887		811	759	▲14.5%	▲6.4%
ディバイス	369	※1 USM減損含む	▲6,443	485	+31.5%	黒字化
		USM減損除く	316	485	+31.5%	+53.5%
その他	▲222		▲112	▲43	+80.3%	+60.9%
調整額	▲838		※2 ▲572	※3 ▲1,469	▲75.3%	▲156.8%
税引前利益	1,120		▲5,557	76	▲93.2%	黒字化
親会社の所有者に帰属する四半期利益	484		▲5,895	▲300	-	+94.9%
為替レート（平均）	¥145/$		¥157/$	¥159/$		
為替レート（直前期末～当該期末）	¥145/$ ～¥149/$		¥160/$ ～¥162/$	¥162/$ ～¥157/$		

※1 USM減損▲68億円　※2 固定資産売却益3.5億円含む　※3 USMに係る調査費用など▲6億円含む

©2026 Nissha Group

メディカル： 2026Q3実績・Q4見通し

四半期別 売上高・営業利益率



- Q3実績 QoQ（為替レート： ￥159/$）
  - 医療機器CDMO： マイクロ成形を中心に需要堅調
  - 医薬品CDMO： OTC医薬品需要の回復
- Q4見通し QoQ（想定為替レート： ￥155/$）
  - 医療機器CDMO： 堅調な需要が継続
  - 医薬品CDMO： 季節性需要の取り込み
  - 営業利益： 増収効果により、収益性が向上

©2026 Nissha Group

メディカル： 2027年の展望

売上高

2026年予想（為替レート：￥157/$）	2027年見通し（為替レート：￥155/$）
591億円	610-640億円

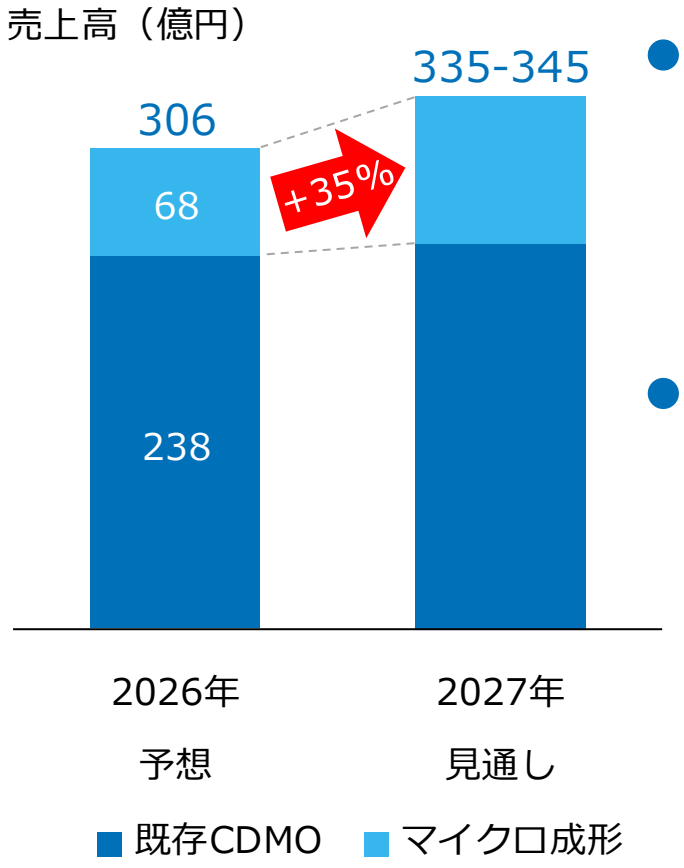
営業利益率

2026年予想	2027年見通し
7.3%	8.5～9.0%

分野	用途	需要トレンド
✓医療機器CDMO	低侵襲医療用の手術機器など	↗
医薬品CDMO	一般用・医療用医薬品	→

医療機器CDMO

マイクロ成形が成長を牽引



- 売上高
  - マイクロ成形： +35%
    - 医療機器の小型化ニーズ
    - AIデータセンター向け光ケーブルコネクター部品
- 収益性
  - 増収効果
  - 価格改定
  - 生産性改善

©2026 Nissha Group

メディカル： マイクロ成形の成長

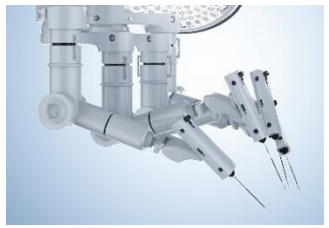
医療機器の小型化とAIデータセンター需要を取り込み、成長を加速

医療機器

小型化・高精度化のニーズ

壁厚50μm





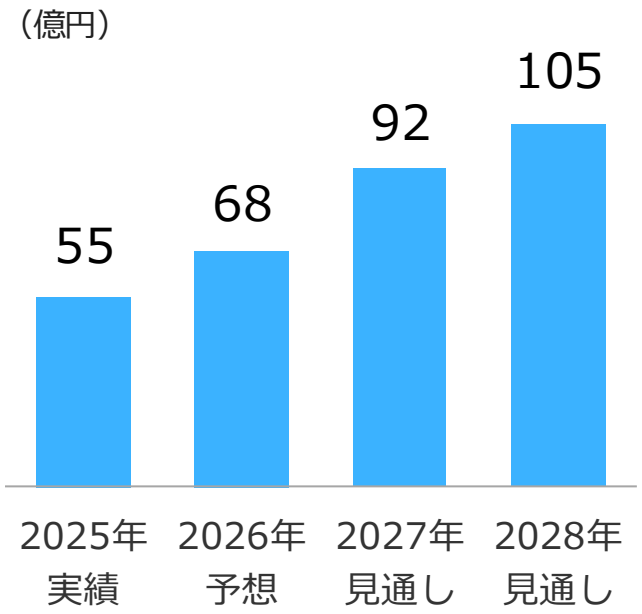
- 手術支援ロボットなどに使う小型・精密部品の需要拡大

AIデータセンター



- コネクター需要を獲得
  医療機器以外にも技術を展開
- 光ケーブルコネクター部品
  寸法公差 ±20μm未満

マイクロ成形売上高



生産能力の拡張

- 新棟の建設（進行中）
  ウィスコンシン州ニューリッチモンド



約50,000平方フィート
2027年4月 完成予定

- 設備投資（売上高拡大に対応）
  - 医療機器とAIデータセンターの需要増を支える生産体制を整備

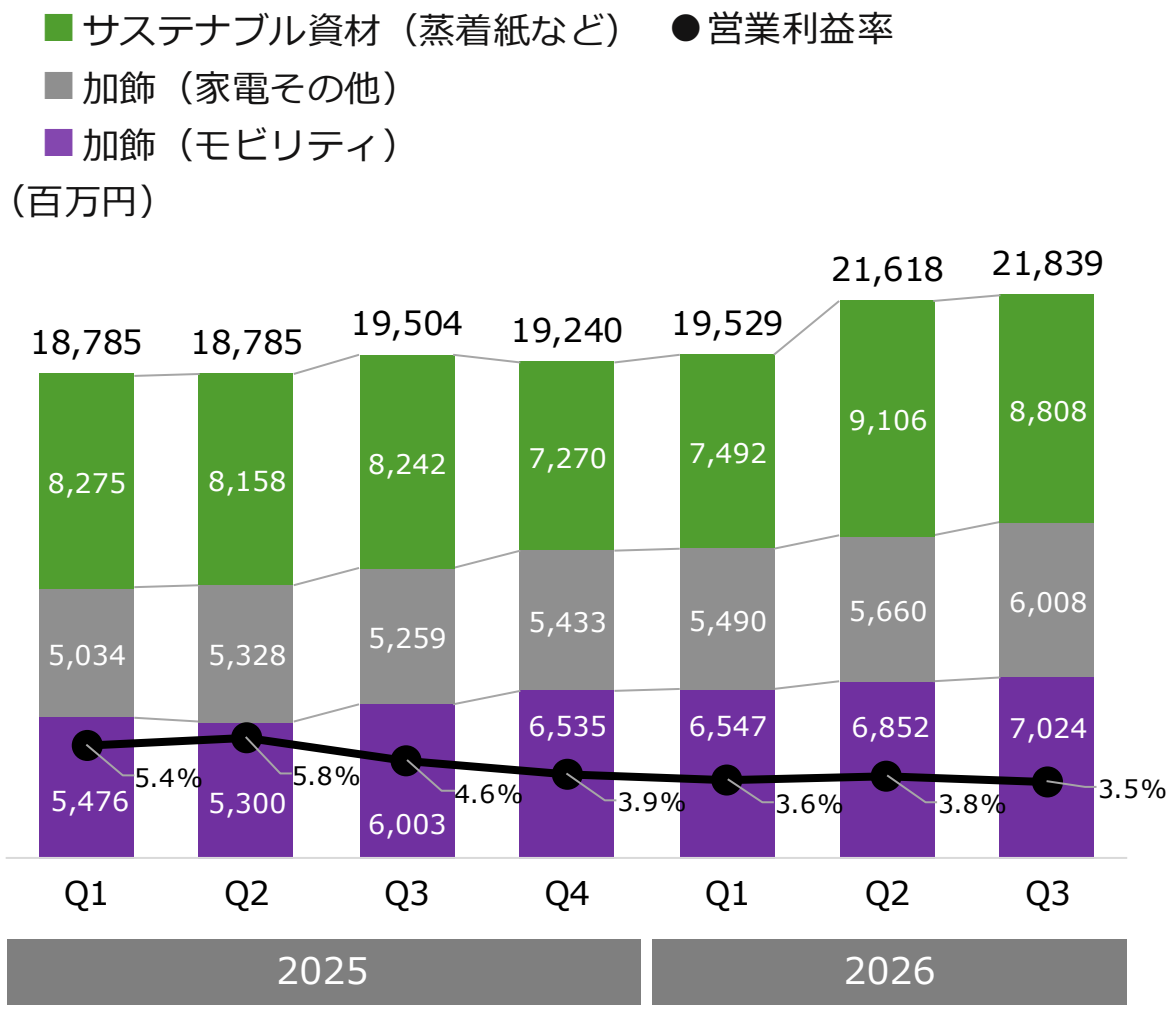
- 非支配持分の買取に係る金融負債の増加を抑制
  - マイクロ成形のグループ会社を買収時（2024年）、少数株主にプット・オプションを付与
  - 買収時の想定を上回って成長、医療機器分野でのさらなる事業拡大を見込む一方、業績連動に基づく持分の買取価格の上昇リスクを抑えるため、取得価格を現時点で確定し（契約変更）、将来の金融負債の増加を抑制
  - 契約変更に伴う金融負債の再測定により、従来の帳簿価額との差額約78億円をQ4に金融費用として計上する見込み

※今回の金融費用の計上自体は、現金支出を伴いません。

©2026 Nissha Group 注：画像はイメージであり、生成AIを利用して作成したものも含まれます。

産業資材： 2026Q3実績・Q4見通し

四半期別 売上高・営業利益率



- Q3実績 QoQ（為替レート： ￥159/$）
  - 加飾： モビリティ、家電向けとも需要堅調
  - 蒸着紙： 需要は底堅く推移
  - 営業利益： モビリティ外装機能部品の生産関連費用が継続
- Q4見通し QoQ（想定為替レート： ￥155/$）
  - 加飾： モビリティ外装機能部品の需要堅調
  - 蒸着紙： 需要継続
  - 営業利益： モビリティ外装機能部品の生産が安定化に向かう

©2026 Nissha Group

産業資材： 2027年の展望

売上高

2026年予想（為替レート：￥157/$）	2027年見通し（為替レート：￥155/$）
845億円	860-890億円

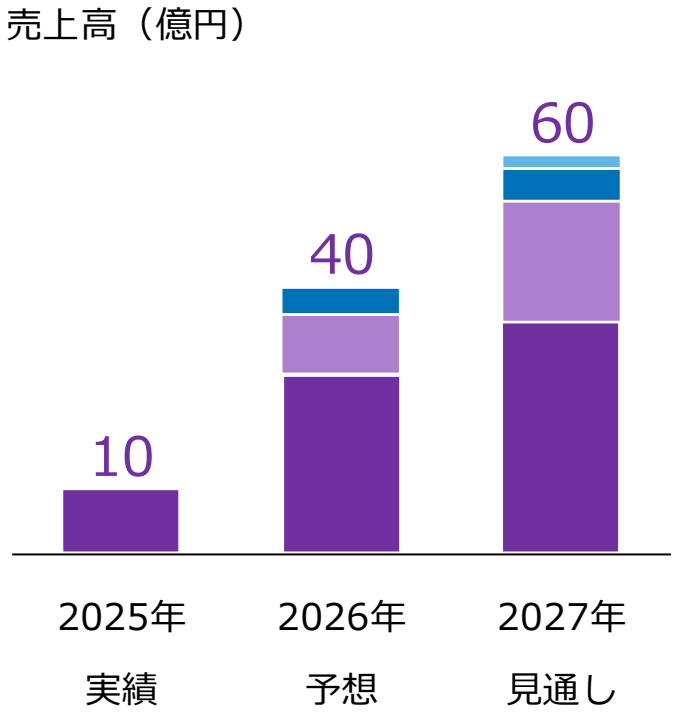
営業利益率

2026年予想	2027年見通し
3.3%	3.5～4.0%

分野	用途	需要トレンド
加飾	モビリティ内装	↗
	✓ モビリティ外装	↗
	家電・その他	→
サステナブル資材（蒸着紙）	飲料・食料品ラベル	→

モビリティ外装機能部品

2027年は4モデルを量産、生産は安定化



ヘッドライト： 2モデル



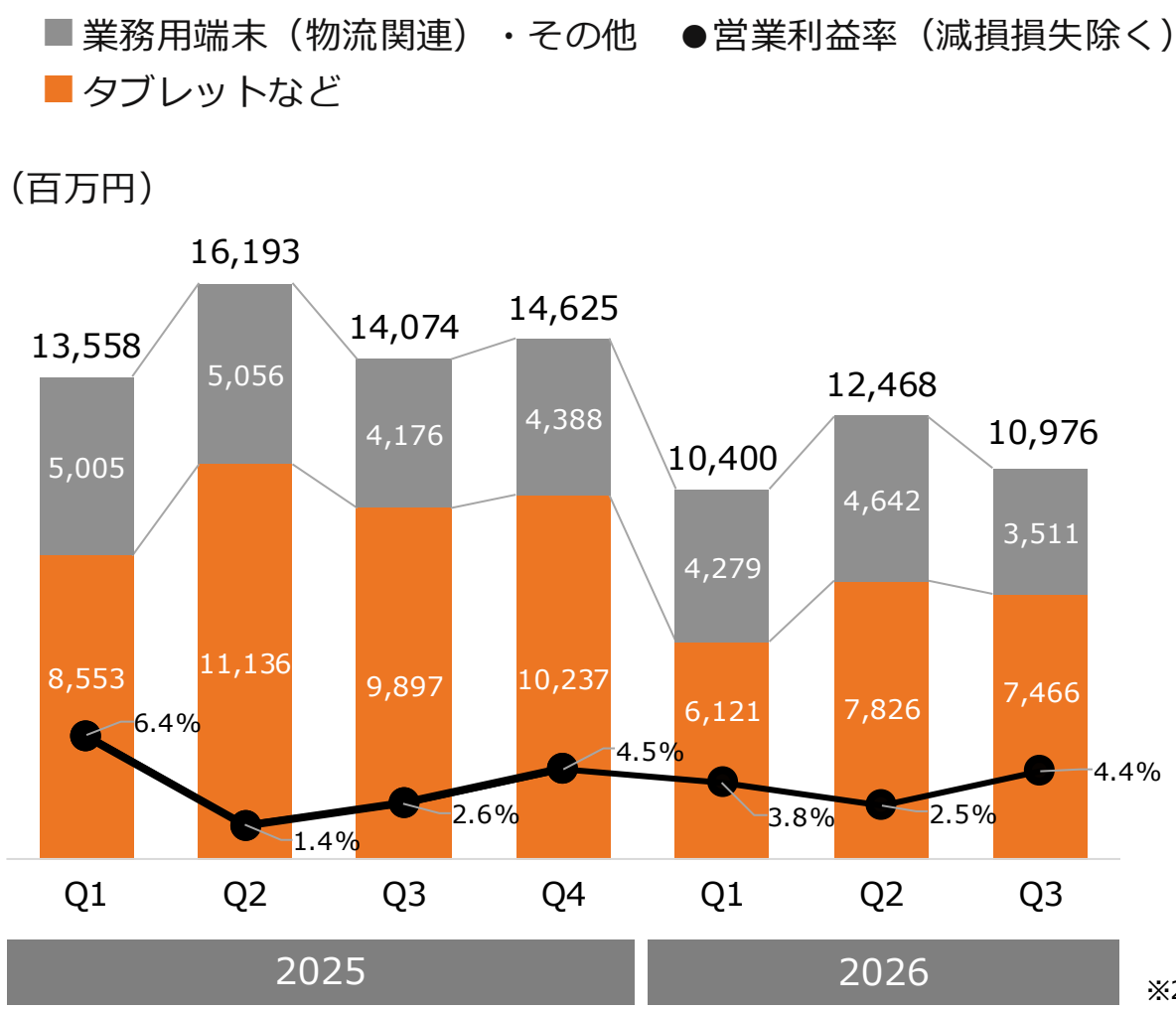
リアライト： 2モデル



©2026 Nissha Group

ディバイス： 2026Q3実績・Q4見通し

四半期別 売上高・営業利益率



※2026Q2はUSMに係る減損損失を除く営業利益率で表示。

- **Q3実績 QoQ**（為替レート： ￥159/$）
  - タブレット： サプライチェーンにおける生産調整により、需要低迷が継続
  - 業務用端末： 需要減少
  - 営業利益： 生産稼働の維持により収益性が改善
- **Q4見通し QoQ**（想定為替レート： ￥155/$）
  - タブレット： 需要低迷が継続
  - 業務用端末： 需要減少が継続
  - 営業利益： 生産稼働の低下により減益

©2026 Nissha Group

ディバイス： 2027年の展望

売上高

2026年予想（為替レート：￥157/$）	2027年見通し（為替レート：￥155/$）
456億円 →	2026年並み

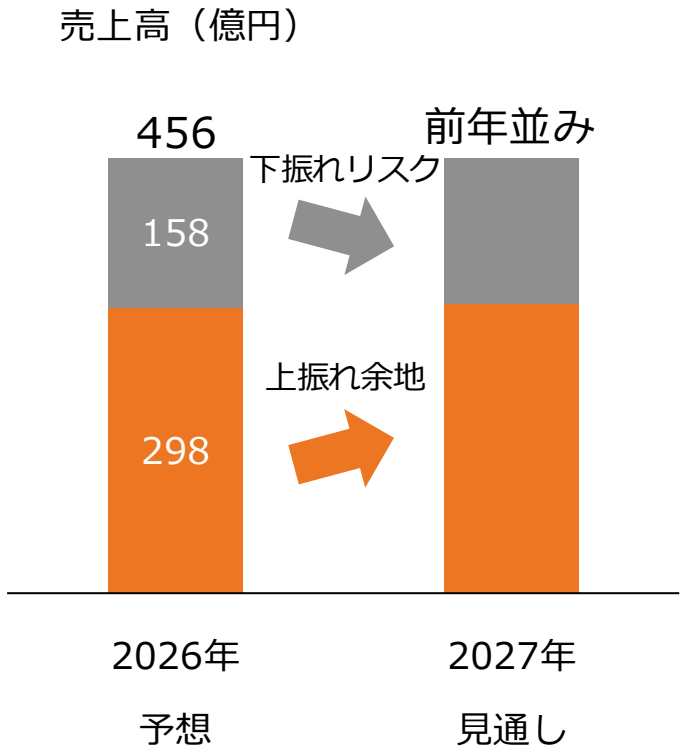
営業利益率

2026年予想	2027年見通し
1.7%	2026年並み

分野	用途	需要トレンド
IT機器	タブレット	→
その他	業務用端末（物流関連）、ガスセンサーなど	→

※2026年予想はUSMに係るのれん減損損失を除く。

売上高・営業利益 2026年並み



- 売上高
  - タブレット： 前年並みを想定、需要回復による上振れ余地
  - 業務用端末： 前年並みを想定、採用モデル減少による下振れリスク

©2026 Nissha Group

2026年12月期 業績計画

（百万円）

	前回計画（9/30発表）			今回計画（11/11発表）		
	FY2026 通期 計画	FY2026 H1 実績	FY2026 H2 計画	FY2026 通期 計画	FY2026 H1 実績	FY2026 H2 計画
売上高	195,000	96,033	98,967	195,000	96,033	98,967
メディカル	59,100	29,034	30,066	59,100	29,034	30,066
医療機器	51,800	25,671	26,129	51,800	25,671	26,129
医薬品	7,300	3,362	3,938	7,300	3,362	3,938
産業資材	84,500	41,147	43,353	84,500	41,147	43,353
ディバイス	45,600	22,868	22,732	45,600	22,868	22,732
その他	5,800	2,982	2,818	5,800	2,982	2,818
営業利益	▲3,300	▲4,500	1,200	▲3,300	▲4,500	1,200
営業利益率	-1.7%	-4.7%	1.2%	-1.7%	-4.7%	1.2%
メディカル	4,300	1,905	2,395	4,300	1,905	2,395
産業資材	2,800	1,519	1,281	2,800	1,519	1,281
ディバイス	▲6,000	▲6,050	50	▲6,000	▲6,050	50
その他	▲200	▲12	▲188	▲200	▲12	▲188
調整額	▲4,200	▲1,862	▲2,338	▲4,200	▲1,862	▲2,338
税引前利益	▲4,400	▲4,806	406	▲12,200	▲4,806	▲7,394
親会社の所有者に帰属する当期（中間）利益	▲6,200	▲5,473	▲727	▲14,000	▲5,473	▲8,527
為替レート（平均）	¥155/$	¥156/$	¥155/$	¥157/$	¥156/$	¥157/$

©2026 Nissha Group

（ご参考）設備投資・減価償却費及び償却費・M&A投資・研究開発費（2026年）

（百万円）

	第1四半期（1-3月）実績	第2四半期（4-6月）実績	第3四半期（7-9月）実績
設備投資	2,334	3,377	2,435
減価償却費及び償却費	2,562	2,661	2,706
M&A投資	648	7,208	0
研究開発費	766	757	771

©2026 Nissha Group

Leaders in Trusted Technologies

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。

©2026 Nissha Group